

設立趣旨書

本法人の前身である「東京がん化学療法研究会」は1972年3月に設立され、以来2001年3月まで、原則として8月、12月を除く年10回、毎月会員から拠出される会費によって悪性腫瘍疾患及び類縁疾患に関する症例報告、研究報告ならびに招聘講師による講演会を開催し、会員のみならずこの分野に歓心を寄せる市民に公開してきた。

また1973年以来、会員及び本研究会が計画した臨床試験の目的に賛同する非会員施設を加えて、当該臨床試験を受託実施するとともに、1996年4月からは漸く臨床試験の重要性、基盤整備の必要性、充実化に対する社会的認識が高まってきたことと相俟って、臨床試験支援業務としてセンター方式による症例登録、割付業務を実施してきた。さらに1997年8月から2年ごとに新抗癌剤－東京フォーラム；The Tokyo Forum of New Anticancer Drugs(TFNAD)を開催し、抗癌剤の臨床開発に従事する各領域から開発中の新抗癌剤についてその成否に関係なく、特に開発中断例の反省を含めた発表の場として最新の情報交換の機会を提供してきている。一方、2000年からは臨床腫瘍集中セミナーとして、臨床腫瘍に関する知識の涵養と向上に資することを目的として各領域の最新の知識や問題点を網羅したセミナーを毎年7月末に開催、社会的にも腫瘍に対する医学的知識の普及化を図るため、広く市民に公開することとしている。

本法人は以上の活動をさらに広く継続発展させる事によって、癌の治療、特に化学療法分野において、その知識の普及と向上を図り癌治療の進歩に寄与するとともに、臨床試験の必要性と重要性を広く社会に周知せしめるための事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与する事を目的とするものである。

平成13年 4月 17日

特定非営利活動法人 東京がん化学療法研究会

住所又は居所 東京都大田区上池台3-5-6

氏 名 仁 井 谷 久 暢

